



## 1435 5年 Aさん「ヒョウモンチョウの幼虫の冬越し」4月3日

年末からずっと幼虫のままで、年が明けてもなかなかさなぎにならなかった。スマレの葉がかれて、エサがなくなると大きくなれず、サナギになれないようだ。天気の良い日にはブロック塀に登ってくるが、寒い日は姿が見えなくなる。

2月の末にやっとブロック塀に逆さにぶら下がった。暖かい季節は、朝幼虫でも夕方にはサナギに変身しているのに、今回は3日目にやっとサナギになった。

幼虫の中には寒さがこえたのか、地面でサナギに変身途中で死んだものも2匹いた。今までサナギから成虫になるには2週間くらいだったが、今回3月初めから1か月ずっと変化なし。

4月2日、とても暖かかった。4月3日の朝、見に行くと、サナギが抜け殻になっていた。いつのまにか羽化していた。

ぼく「途中で死んでいた幼虫もいたけど、4月3日に何とか羽化できてよかったね。」

祖母「生まれた季節によって小さな虫にも色々大変なことがあるんだね。」

ぼく「あまり気にしてこなかった自然の変化に、これからは注意して見守っていきたい。」

★ Aさんの冬レポ「ヒョウモンチョウ」の続編です。気温と羽化の関係がしっかり記録されています。夏の自由研究で、これまでの記録をまとめるといいね。



## 1436 6年 Bさん「サクラとウメとモモ」

春といえば花見ですが、サクラとウメとモモの違いを見分けて楽しめていますか。

私「サクラとウメとモモの違いって何だろう？」

姉「確かサクラの花びらは楕円で、先端が分かれてハートみたいになってて、ウメは丸くて、モモは楕円で先端がとがっているって聞いたことがあるよ。」

私「でもそんな近くまで見ないからな。」

姉「つぼみとかは？ネットで調べてみよう。」

調べてみるとサクラのつぼみは細長く、ウメはまん丸

で、モモは丸みがあるそうです。

花芽の数はサクラは2個以上、ウメは一個ずつ、モモは2個(葉芽も花芽と同じところから出る)そうです。今年の外に出れませんでした、来年は見たいです。

★ 同じバラ科の植物です。花は似ています。果実は形や味が違います。それぞれ個性があっていいね。



サクラ



ウメ



モモ